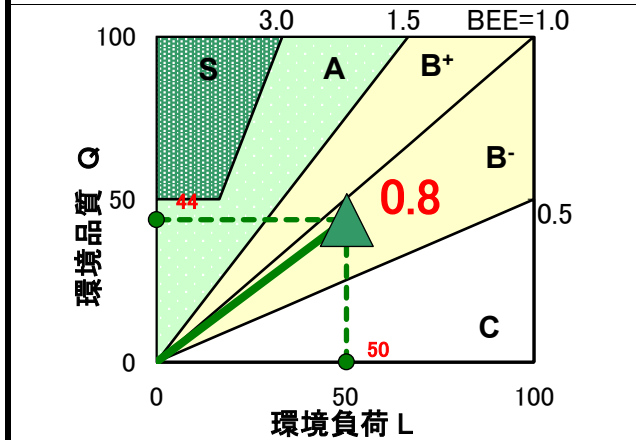
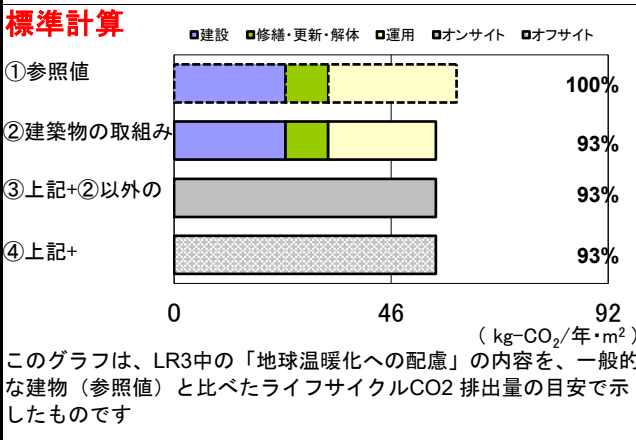
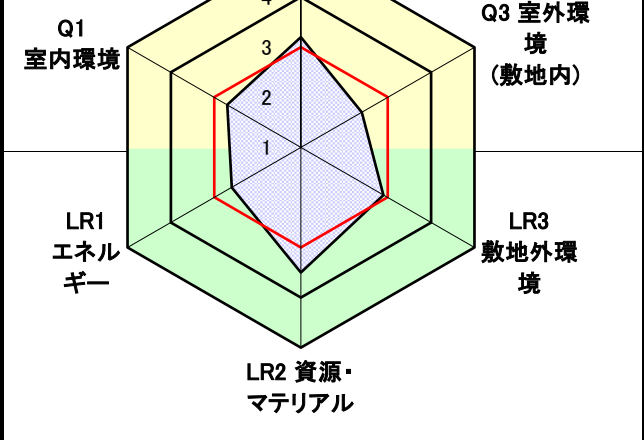
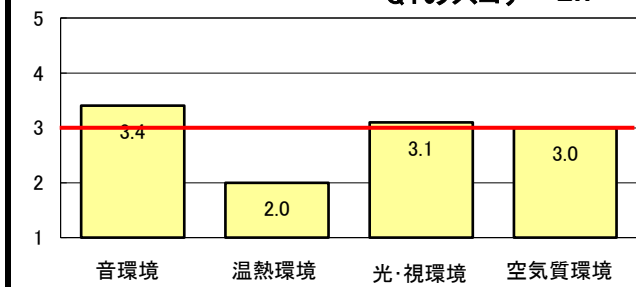
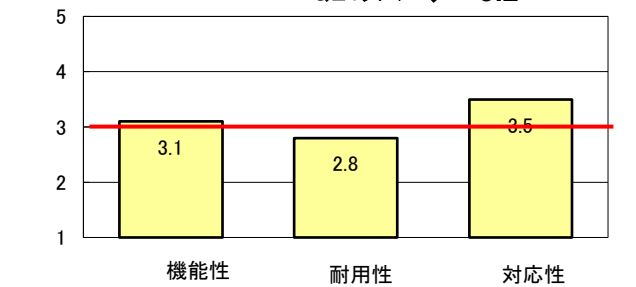
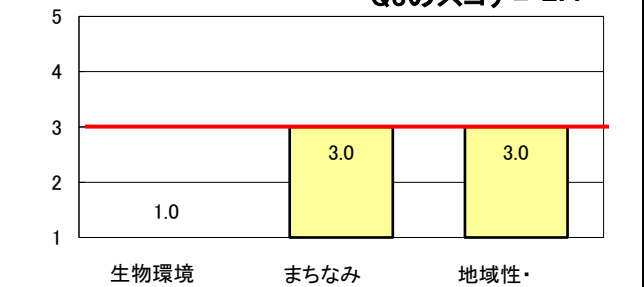
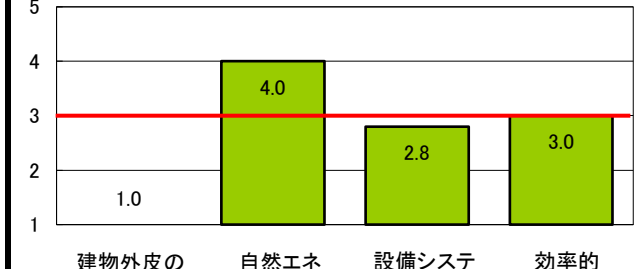
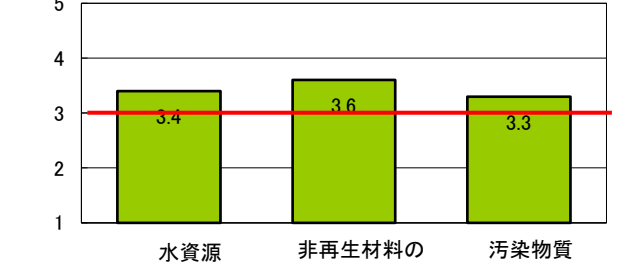
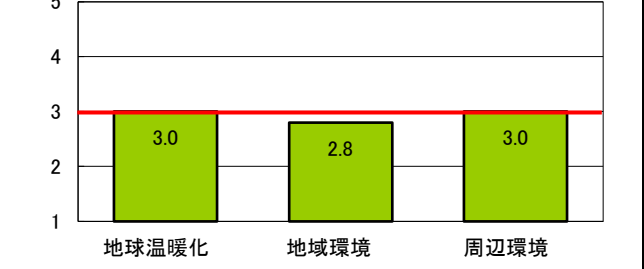


CASBEE神戸ver.3

■使用評価マニュアル：CASBEE神戸ver.3/CASBEE-建築（新築）2016年版 | 使用評価ソフト：CASBEE神戸ver.3/CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

評価結果

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	中央卸売市場本場冷蔵庫棟	階数	地上3F
建設地	神戸市兵庫区中之島1-1-4	構造	SRC造
用途地域	臨港地区	平均居住人員	XX 人
地域区分	6地域	年間使用時間	XXX 時間/年(想定値)
建物用途	工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2027年10月 予定	評価の実施日	2024年3月4日
敷地面積	109,506 m ²	作成者	西岡広登
建築面積	10,949 m ²	確認日	2024年3月4日
延床面積	22,308 m ²	確認者	片岡政規

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)		2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)		2-3 大項目の評価(レーダーチャート)	
BEE = 0.8 S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B-: ★★★★★ C: ★ 		標準計算 30%: ☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆☆ 80%: ☆☆☆ 100%: ☆☆ 100%超: ☆ ①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+ 			
2-4 中項目の評価(バーチャート)		Q のスコア = 2.7			
Q1 室内環境		Q2 サービス性能		Q3 室外環境 (敷地内)	
Q1のスコア= 2.7 		Q2のスコア= 3.2 		Q3のスコア= 2.4 	
LR 環境負荷低減性		LR のスコア = 2.9			
LR1 エネルギー		LR2 資源・マテリアル		LR3 敷地外環境	
LR1のスコア= 2.6 		LR2のスコア= 3.5 		LR3のスコア=2.9 	

3 CASBEE神戸 の重要項目			
バリアフリー計画		建築物の耐震性等	まちなみ・景観への配慮
Q-2/1.1.3 バリアフリー計画		Q-2/2.1 耐震・免震・制震・制振	Q-3/2. まちなみ・景観への配慮
 1.0		 3.0	 3.0
配慮の概要		Q-2/2.4 信頼性	配慮の概要
0		 2.6	0
その他の配慮事項			
		0	
		0	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される
■LCCO₂の算定条件等については、「LCCO₂算定条件シート」を参照されたい

CASBEE神戸ver.3/CASBEE-建築(新)
中央卸売市場本場冷蔵庫棟

■使用評価マニュアル CASBEE神戸ver.3/CASBEE-建築

欄に数値またはコメントを記入 ■評価ソフト:

CASBEE神戸ver.3/CASBEE-BD_

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体	
Q 建築物の環境品質								2.7	
Q1 室内環境					0.30		-	2.7	
1 音環境				3.4	0.15	-	-	3.4	
1.1 室内騒音レベル				3.0	0.40	3.0	-		
1.2 遮音				4.2	0.40	-	-		
1 開口部遮音性能		遮音等級T-2以上		5.0	0.60	3.0	-		
2 界壁遮音性能				3.0	0.40	3.0	-		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				-	-	3.0	-		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				-	-	3.0	-		
1.3 吸音				3.0	0.20	3.0	-		
2 温熱環境				2.0	0.35	-	-	2.0	
2.1 室温制御				2.6	0.50	-	-		
1 室温				3.0	0.38	3.0	-		
2 外皮性能				3.0	0.25	3.0	-		
3 ゾーン別制御性		5部屋程度は系統を分け切り替えが行えるため中間の2とした。		2.0	0.38	-	-		
2.2 湿度制御		冷蔵施設のため結露に配慮し、加湿はせず除湿のみとし中間の2と		2.0	0.20	3.0	-		
2.3 空調方式		カセット型室内機のため		1.0	0.30	3.0	-		
3 光・視環境				3.1	0.25	-	-	3.1	
3.1 昼光利用				3.0	0.30	-	-		
1 昼光率				3.0	0.60	3.0	-		
2 方位別開口				-	-	-	-		
3 昼光利用設備				3.0	0.40	3.0	-		
3.2 グレア対策				4.0	0.30	-	-		
1 昼光制御				4.0	1.00	3.0	-		
3.3 照度				2.0	0.15	3.0	-		
3.4 照明制御				3.0	0.25	3.0	-		
4 空気質環境				3.0	0.25	-	-	3.0	
4.1 発生源対策				3.0	0.50	-	-		
1 化学汚染物質				3.0	1.00	3.0	-		
4.2 換気				3.0	0.30	-	-		
1 換気量				3.0	0.33	3.0	-		
2 自然換気性能				3.0	0.33	3.0	-		
3 取り入れ外気への配慮		最も不利な加工場1〜5で3m以上確保している(電気室を除く)		3.0	0.33	3.0	-		
4.3 運用管理				3.0	0.20	-	-		
1 CO ₂ の監視				3.0	0.50	-	-		
2 喫煙の制御				3.0	0.50	-	-		
Q2 サービス性能				-	0.30	-	-	3.2	
1 機能性				3.1	0.40	-	-	3.1	
1.1 機能性・使いやすさ				2.6	0.40	-	-		
1 広さ・収納性		1階受付事務所・2階受付事務室、9㎡以上		4.0	0.33	3.0	-		
2 高度情報通信設備対応				3.0	0.33	3.0	-		
3 バリアフリー計画				1.0	0.33	-	-		
1.2 心理性・快適性				3.0	0.30	-	-		
1 広さ感・景観				4.0	0.33	3.0	-		
2 リフレッシュスペース				2.0	0.33	-	-		
3 内装計画				3.0	0.33	-	-		
1.3 維持管理				4.0	0.30	-	-		
1 維持管理に配慮した設計		1階床排水目皿の設置、防鳥ネットの設置、金属部溶融亜鉛メッキ		4.0	0.50	-	-		
2 維持管理用機能の確保		清掃よう流しの設置、屋上に外壁メンテナンス用丸環の設置		4.0	0.50	-	-		
2 耐用性・信頼性				2.8	0.30	-	-	2.8	
2.1 耐震・免震・制震・制振				3.0	0.50	-	-		
1 耐震性(建物のこわれにくさ)				3.0	0.80	-	-		
2 免震・制震・制振性能				3.0	0.20	-	-		
2.2 部品・部材の耐用年数				2.9	0.30	-	-		
1 躯体材料の耐用年数				3.0	0.20	-	-		
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔				2.0	0.20	-	-		
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔				2.0	0.10	-	-		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		屋外で使用するダクトは、溶融アルミニウム亜鉛鉄板を用いる。		5.0	0.10	-	-		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		冷媒管:銅管(C) 冷凍庫用CO2配管:ステンレス鋼管(C) 給水管:給水用ポリエチレン管(B)消火管:配管用炭素鋼鋼管(白)		4.0	0.20	-	-		
6 主要設備機器の更新必要間隔		パッケージ機器15年、冷却塔13年であることを考慮し、7〜15年とし		2.0	0.20	-	-		
2.4 信頼性				2.6	0.20	-	-		
1 空調・換気設備		集中管理運転システムを持たないためレベル3とした。		3.0	0.20	-	-		
2 給排水・衛生設備		節水型機器を使用し、系統毎にバルブを有しているため。		3.0	0.20	-	-		
3 電気設備				3.0	0.20	-	-		
4 機械・配管支持方法				3.0	0.20	-	-		
5 通信・情報設備				1.0	0.20	-	-		

3 対応性・更新性			3.5	0.30	-	-	3.5
3.1 空間のゆとり			4.6	0.30	-	-	
1	階高のゆとり	階高5.625m	5.0	0.60	3.0	-	
2	空間の形状・自由さ	比率0.18～0.22	4.0	0.40	3.0	-	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30	3.0	-	
3.3 設備の更新性			3.2	0.40	-	-	
1	空調配管の更新性	耐力壁は既存の穴を流用しない場合、構造体を痛めなければ更新	1.0	0.20	-	-	
2	給排水管の更新性	耐力壁は既存の穴を流用しない場合、構造体を痛めなければ更新	3.0	0.20	-	-	
3	電気配線の更新性	幹線ルートにはケーブルラックを敷設し、構造部は予め将来	5.0	0.10	-	-	
4	通信配線の更新性	の配線用として開口を設ける。	5.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保	屋上部にバックアップスペースを設けた。	4.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.40	-	-	2.4
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30	-	-	3.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50	-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	2.9
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	2.6
1 建物外皮の熱負荷抑制			1.0	0.20	-	-	1.0
2 自然エネルギー利用		庇にトップライトを設けた。階段4にてハイサイドライトを設けた。	4.0	0.10	-	-	4.0
3 設備システムの高効率化		[BEI][BEIm] = 0.84	2.8	0.50	-	-	2.8
4 効率的運用			3.0	0.20	-	-	3.0
集合住宅以外の評価			3.0	1.00	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価			-	-	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	-	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.5
1 水資源保護			3.4	0.20	-	-	3.4
1.1	節水	自動水栓に加え、節水型便器を設けた。	4.0	0.40	-	-	
1.2	雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.6	0.60	-	-	3.6
2.1	材料使用量の削減		3.0	0.11	-	-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.22	-	-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.22	-	-	
2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	事務所アプローチスロープ・階段部:タイル	4.0	0.22	-	-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材		-	-	-	-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取り組み	UL工法により設備類との錯綜がない。一部OAフロア	5.0	0.22	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.3	0.20	-	-	3.3
3.1	有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.30	-	-	
3.2	フロン・ハロンの回避		3.5	0.70	-	-	
1	消火剤		-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50	-	-	
3	冷媒	冷凍機部には、アンモニア/CO2冷媒を用いた冷凍機を使用する。。	4.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	2.9
1 地球温暖化への配慮			3.0	0.33	-	-	3.0
2 地域環境への配慮			2.8	0.33	-	-	2.8
2.1	大気汚染防止	大気汚染が発生する機器を使用していない	5.0	0.25	-	-	
2.2	温熱環境悪化の改善		2.0	0.50	-	-	
2.3	地域インフラへの負荷抑制		2.2	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制		2.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		1.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.0	0.33	-	-	3.0
3.1	騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	1.00	-	-	
2	振動		-	-	-	-	
3	悪臭		-	-	-	-	
3.2	風害、砂塵、日照障害の抑制		3.0	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制		1.0	-	-	-	
3	日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3	光害の抑制		3.0	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		3.0	0.70	-	-	
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	